

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		真壁トレーニングセンター管理運営事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020402000081	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		090501	
政策体系	総合計画の施策名	0204	生涯スポーツ活動の振興					所属課	スポーツ振興課	
	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名		
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興					グループ	スポーツ振興G	
	手段名	02	②快適な施設利用の推進					担当者名		
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	06	02	07	00	トレーニングセンター管理事業(真)			
法令根拠	桜川市真壁トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例、桜川市真壁トレーニングセンター管理規則				単年度繰返し ( 昭和57 年度～)					
						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>桜川市真壁町古城377に所在する真壁トレーニングセンター(延床面積1,336㎡)を管理する事業である。 真壁体育館に常駐する市職員2名、会計年度任用職員3名及び夜間管理員として会計年度任用職員2名が管理運営を行っている。 施設内には、武道場(柔道・剣道・空手道)とトレーニング室がある。 使用料は、武道場が市内在住者が4時間で500円、市外の方はその2倍となっている。トレーニング室は、令和3年7月1日から、市内在住者・市外の方とも100円(2時間まで)となっている。また、利用者の安全かつ効果的なトレーニング方法の指導のため、ウェイトトレーニング講習会の受講を義務化した。使用時間は9:00~17:00 17:30~21:30である。</p>	<p>・施設の維持管理、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付、利用団体の調整、貸出、清掃業務等の委託契約、 ・ウェイトトレーニング講習会の受講受付、修了証の交付 ・夜間管理員の業務：施設の開閉、電話番、戸締まり確認、施設の見回り</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施設の維持管理、使用許可申請書の受付、使用許可書の交付、利用団体の調整、貸出、清掃業務等の委託契約、夜間管理員の業務：施設の開閉、電話番、戸締まり確認、施設の見回り	貸出日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	308.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民	人口(常住人口)	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
スポーツができる施設を利用できる。スポーツを楽しみながら、健康づくりができる。	利用者数	人	5,851.00	5,321.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度		06年度		07年度		08年度		09年度		期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)					
		国庫支出金	千円	0	0	0							
		県支出金	千円	0	0	0							
		地方債	千円	0	0	0							
		使用料・手数料	千円	357	273	300							
		その他	千円	0	0	0							
		一般財源	千円	1,271	937	1,389							
		事業費計(A)	千円	1,628	1,210	1,689							
		正規職員従事人数	人	3.00人	2.00人	2.00人							

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)				07年度事業費 予算(千円)			
	10 需用費	149			10 需用費	493		
	11 役務費	8			11 役務費	8		
	12 委託料	1,053			12 委託料	1,150		
					13 使用料及び賃借料	38		
			合計	1,210		合計	1,689	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の維持管理業務</li> <li>○施設の使用申請書受付・許可書交付</li> <li>○利用団体間の調整</li> <li>○ウェイトトレーニング講習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の維持管理業務</li> <li>○施設の使用申請書受付・許可書交付</li> <li>○利用団体間の調整</li> <li>○ウェイトトレーニング講習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の維持管理業務</li> <li>○施設の使用申請書受付・許可書交付</li> <li>○利用団体間の調整</li> <li>○ウェイトトレーニング講習会の開催</li> </ul>

事務事業名	真壁トレーニングセンター管理運営事業	事務事業No.	20402000081	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 真壁トレーニングセンターの建設に伴い、昭和57年9月から施設の利用が開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ トレーニング機材の充実。特に、ランニングマシンやエアロバイクの導入してほしいとの要望が多い。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 真壁トレーニングセンターの管理運営を行うことにより、意図の「スポーツができる施設を利用できる。」「スポーツを楽しみながら、健康づくりができる。」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内にある施設を利用できることで利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくり、健康増進にもつながり税金を投入するのは妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設の老朽化により修繕箇所が多くなり、予算上全てに対応できていないので向上の余地がある。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事項はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はほぼ管理費のみであり、人件費については専属の職員を置いていないので、削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収し公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	市民が安心してスポーツを実践できる施設管理を行うことで、楽しみながら健康づくりを図ることができる。 トレーニング室の器具がかなり古く、一部の器具において修繕や更新が必要となっている。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 修繕計画を立て修繕し、安定的な施設運営を図る。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>